

わかやま 県議会 だより No.17

平成24年[2012]
8月11日発行(年4回発行)



きいちゃん

平成27(2015)年に和歌山県で開催される
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の
マスコット、紀州犬の「きいちゃん」!



6月定例会号

主な記事

- 2~3面 平成24年6月定例会の概要
- 4~5面 議員紹介
~あなたのまちの議員を紹介~
- 6面 各委員会の紹介
- 7面 和歌山県がん対策推進条例(仮称)
~県民意見募集~
- 8面 議会活動/県議会からのお知らせ

安全・安心 への挑戦!



山下直也 議長

県民の命を守れ!!

山下直也 議長 東日本大震災の被害に遭われた岩手県山田町の町長がおっしゃっていた「とにかく逃げろ」という言葉が強烈に印象に残っています。まず、そのために、繰り返し訓練を実施し、万が一のときに迅速に避難できるように備える自助の取組が必要であり、それをサポートする施策が重要になってきます。安全な避難路の確保や、県民にとって命の道と云っていい紀伊半島を一周



和歌山県立医科大学附属病院にて
(中央左: 岡本恭子 看護部長 右: 温井由美 看護師)

がん対策推進条例の 制定をめざして!!

議長 県議会では、がん対策推進に係る条例案検討会で議論を重ねています。がん医療における看護師さんの役割について、岡本看護部長さんのお考えを聞かせてください。

岡本看護部長 がん医療における看護師の大切な役割には、がんを診断されたときから患者さんがその人らしく生

する高速道路の早期実現も大切です。また、災害弱者に手を差し伸べる共助のシステムもきつちつくっていかねばなりません。これらを考えると、やはり公助として何ができるか、県と県議会が一緒になって考えている体制づくりをしていかなくてはなりません。

浅井修一郎 副議長 議長が言われたことに加え、いかにスムーズに県全域に情報を伝達できるかということも大事になってきます。県内の隅々まで必要な情報が届くよう市町村をはじめとする関係機関、メディアとの連携強化を図り、リアルタイムに発信していくシステムづくりができればと思っています。

副議長 温井さんは、がん看護専門看護師と何っております。がん看護の現場のお話などを聞かせてください。

温井看護師 私は7年前から、がん看護の相談を受けています。患者さんからは、再発や転移の不安などの相談に加え、最近では経済的な悩みが増えています。

活を送れるように、ご家族を含めた支援をすることがあります。そのためにも、患者さんを中心としたチーム医療が不可欠であり、その充実が重要であると考えます。その中で、患者さんやご家族に一番近い存在の看護師は、診療や治療に関連する業務から療養生活の支援に至るまで幅広い業務を担っています。専門的な知識、すぐれた判断力や技術、コミュニケーション能力を持ったチーム医療のキーパーソンとして期待されています。



中で一生懸命に生

愛すべきふるさとに!!

活をされている姿に日々触れ、少しでも支援したいとの気持ちで自然に起こってきます。私たちも患者さんやご家族の方々の不安や悩みに寄り添いながら、その人らしい生活を送れるように努力していますが、法律や条例によってがん患者さんとご家族を支援する体制づくりをお願いしたいですね。

副議長 議長をしつかりサポートし、県民の皆さんに身近でわかりやすい議会運営をめざしたいと考えています。また、私は安全で安心して暮らすことのできる明るいまちづくりを力を入れてきました。今後もそういった施策を推進していくとともに、若者が定住できるまちにしたいけるよう企業支援、企業誘致も大事だと思っています。加えて、この風光明媚な和歌山県を全国へPRしていくよう県議会が一丸となり、真の観光立県を県民の皆さんとともに実現していきたいと考えています。



浅井修一郎 副議長